

一級河川葛川の合流点処理計画に係る 内水シミュレーション結果に関する説明会



日時：令和8年7月25日（土）

会場：入西地域交流センター 多目的ホール

飯能県土整備事務所 河川砂防担当

～ 説 明 内 容 ～

1.入間川プロジェクト

(1)令和元年東日本台風による被害記録とプロジェクトの概要について

2.合流点処理計画

(1)調節池、堤防嵩上げ、排水機場の増設について

3.内水解析の結果について

(1)検討の目的

(2)検討の結果

(3)まとめ

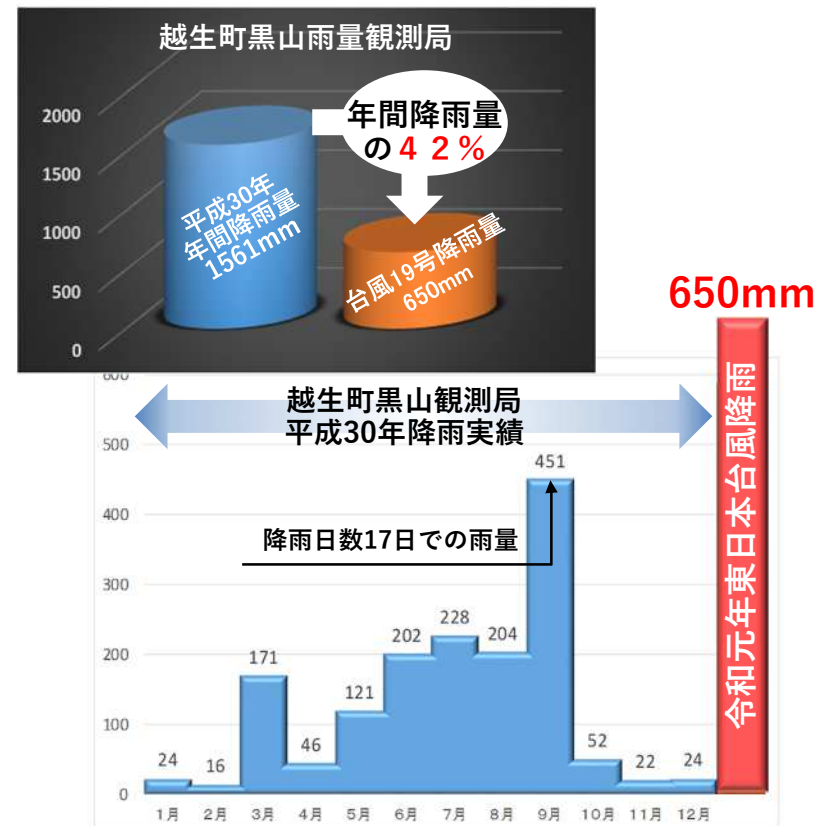
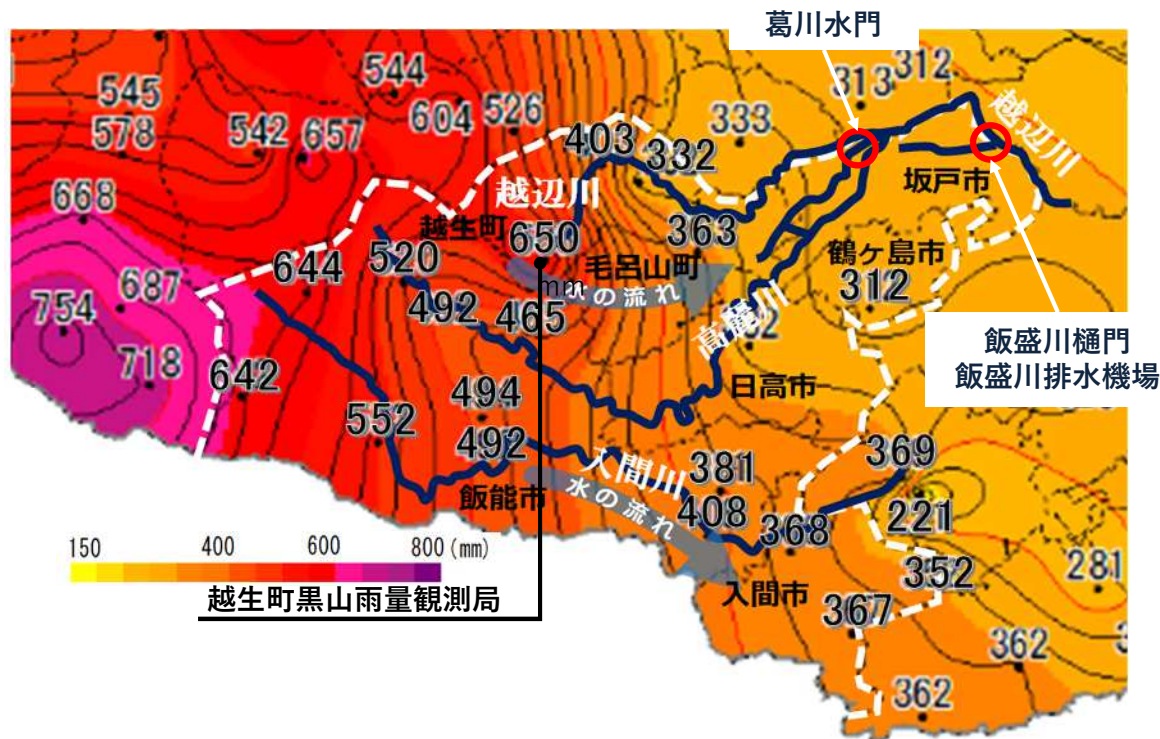
4. 今後の取組みについて

(1)スケジュール

(2)R8工事予定

1 入間川プロジェクト (1)被害記録

①飯能県土管内の降雨分布図



②浸水エリア位置図



1 入間川プロジェクト (1)被害記録

葛 川 (葛川水門から上流部)



越辺川 (葛川水門から下流部)



POINT

洪水時に地域がどのような状況になるのかを知り、早めの避難行動が重要!!

This block contains a green box with a white icon of a person holding a radio and a speech bubble. The text inside the speech bubble reads: '洪水時に地域がどのような状況になるのかを知り、早めの避難行動が重要!!' (Knowing the situation in the area during a flood is important, and early evacuation action is important!!).

1 入間川プロジェクト (1)プロジェクトの概要

1) 「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」の策定（令和2年1月31日記者発表）

➤プロジェクトの目的とは……

令和元年東日本台風において甚大な被害が発生した荒川水系入間川流域における今後の治水対策の取組みとして、地域が連携※1し、多重防御治水※2により「社会経済被害の最小化」を目指す。

※1 地域連携

関係する流域を所管する行政機関が連携しプロジェクトの目的を目指す。



※2 多重防御治水

三位一体となって取組む治水対策

- 1 河道の流下能力の向上による、**あふれさせない対策**
- 2 遊水・貯留機能の確保・向上による、**計画的に流域にためる対策**
- 3 土地利用・住まい方の工夫による、**家屋浸水を発生させない対策**

①多重防御治水の概要

1

河道の流下能力の向上

- 河道内の土砂掘削、樹木伐採による水位低減
- 堤防整備（掘削土を活用）

2

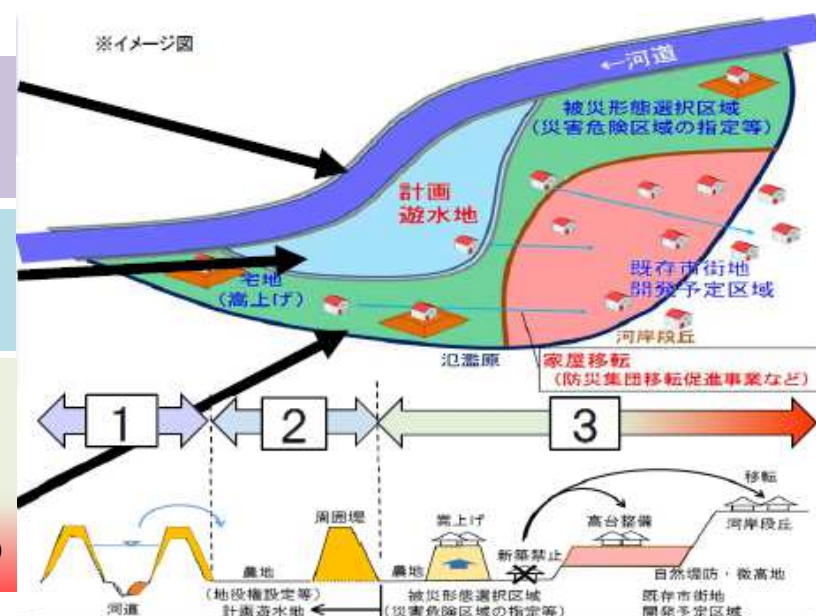
遊水・貯留機能の確保・向上

- 地形や現状の土地利用等を考慮した遊水地等の整備
- 既存ダムの洪水調節機能強化

3

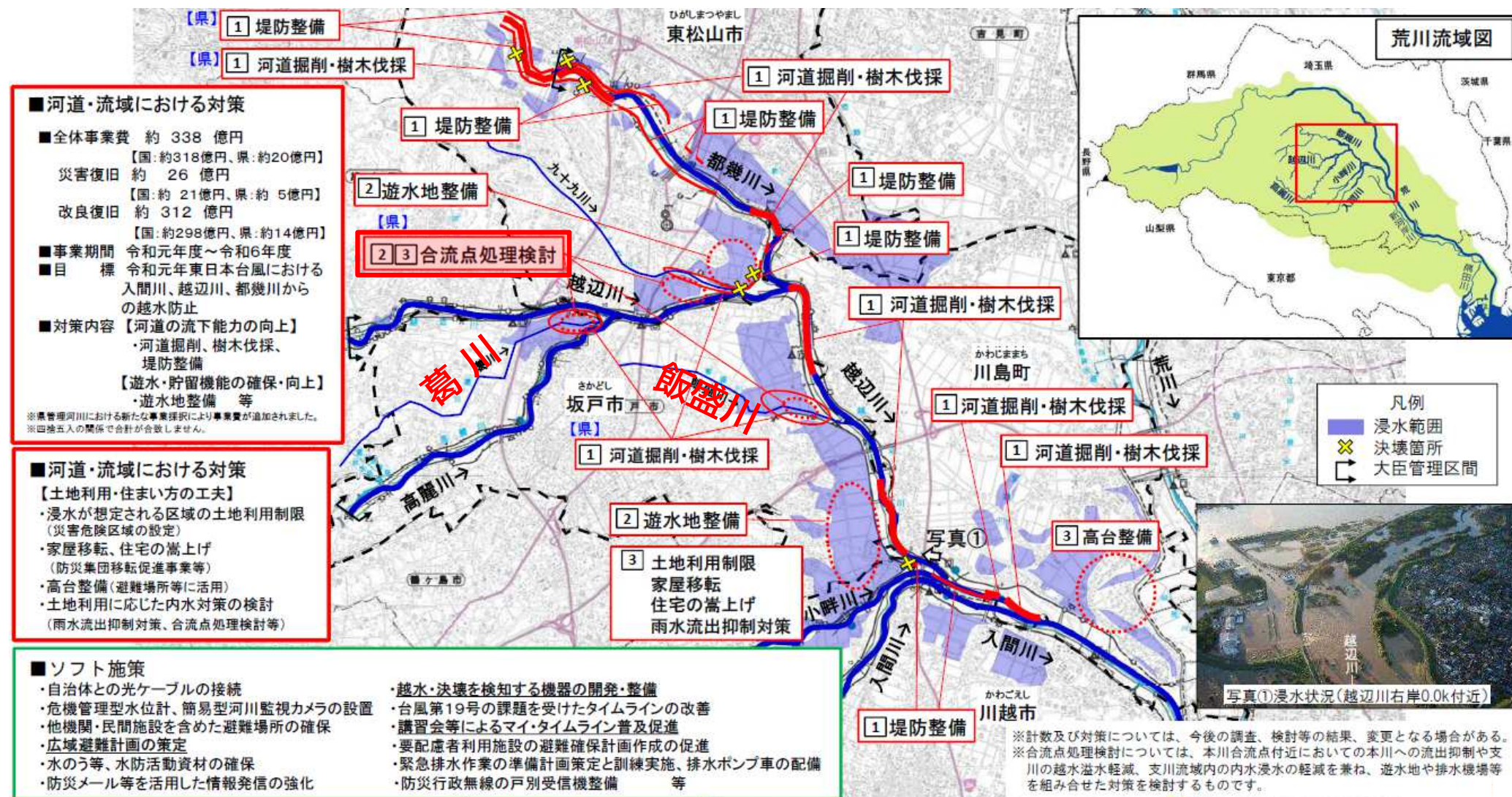
土地利用・住まい方の工夫

- 洪水が想定される区域の土地利用制限（災害危険区域の設定等）
- 家屋移転、住宅の嵩上げ（防災集団移転促進事業等）
- 高台整備（避難場所等に活用）
- 土地利用に応じた内水対策の検討（雨水流出抑制対策、合流点処理検討等）



1 入間川プロジェクト (1)プロジェクトの概要

①プロジェクト概要・位置図



プロジェクトの結論

飯盛川のプロジェクトは、

① あふれさせない対策

➡ 河道掘削・伐採

② 計画的に流域にためる対策

➡ 調節池等整備

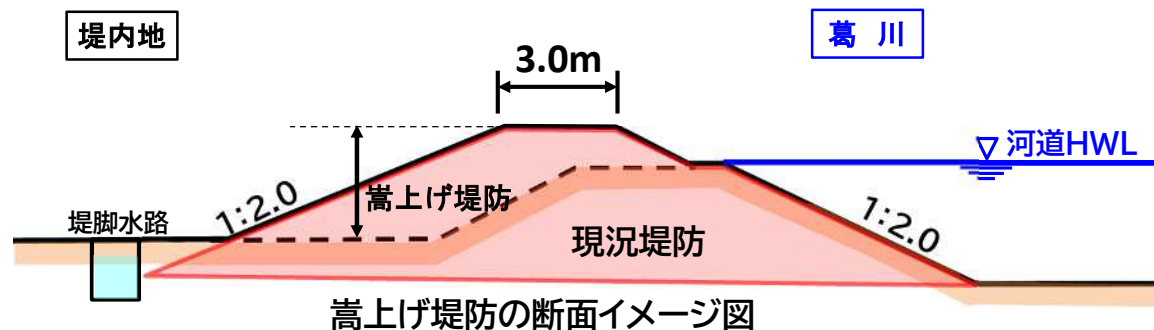
③ 家屋浸水を発生させない対策

➡ 合流点処理検討

三位一体で取り組む方針を策定した。

2 合流点処理計画 (1)調節池、堤防嵩上げ、排水機場

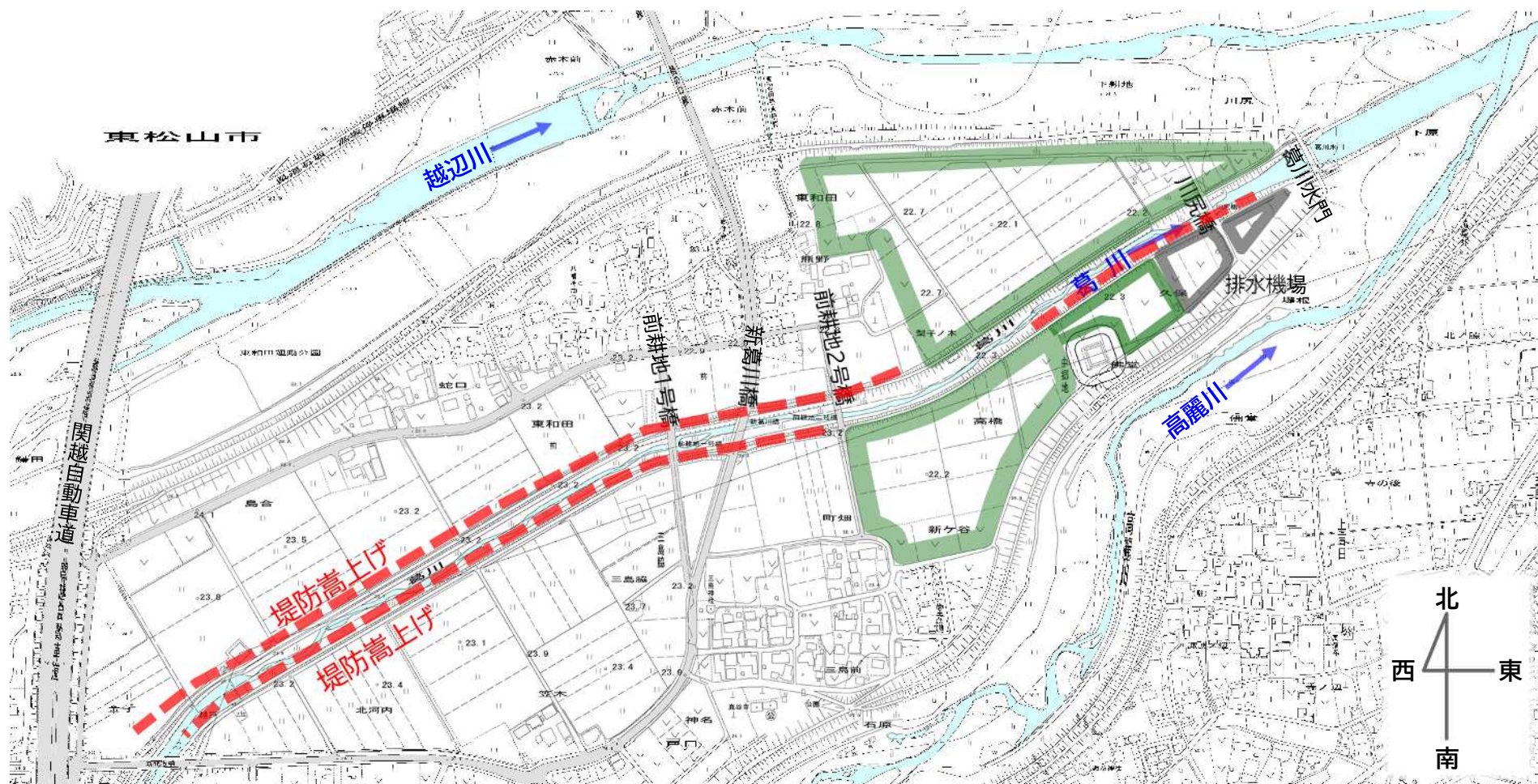
調節池の整備に合わせて、現況堤防の嵩上げを行います。



POINT



葛川水門が閉まった後、洪水を本川に貯留し、調節池へ流入させるために堤防の嵩上げが必要となります。



2 合流点処理計画 (1)調節池、堤防嵩上げ、排水機場

堤防嵩上げ、調節池の整備とあわせて、葛川水門の右岸上流側に排水機場(排水量 $15\text{m}^3/\text{s}$)を新設します。

POINT



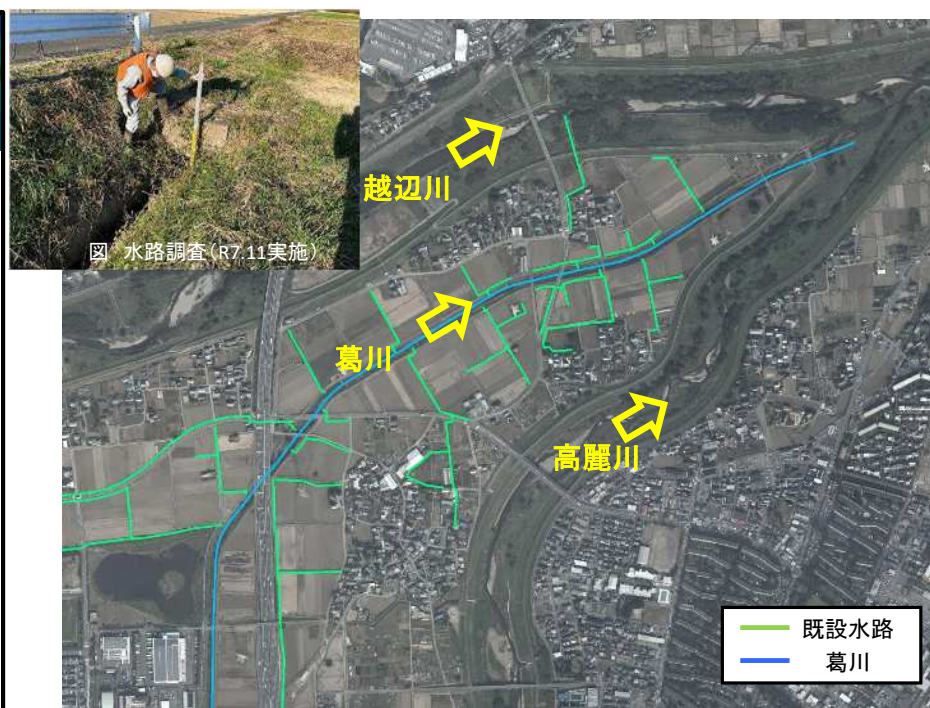
排水機場によって葛川の河道内に溜まった水を高麗川へ放流し、葛川沿川の浸水被害を軽減します。



3 内水解析の結果について

(1) 検討の目的

- ・合流点処理対策(排水機場の新設、調節池の整備、現況堤防の嵩上げ)を行うことにより、葛川からの溢水の減少が期待されます。
- ・しかしその一方で、調節池の整備によりその周囲に堤防が出来ること、葛川の築堤が行われることから降雨による内水(葛川堤防から陸地側の水の処理)への影響が懸念されています。
- ・そこで、合流点処理対策前後での浸水状況のシミュレーションを行い影響を確認します。



葛川の堤内地を5m×5mの地盤高メッシュでモデル化しました。
葛川は、葛川水門を介して越辺川・高麗川の合流点と接続させています。
調節池整備前は、越辺川・高麗川の水位上昇により葛川水門が閉鎖することによる葛川の氾濫による浸水を解析できます。
調節池整備後は、排水機場新設、調節池及び堤防整備による葛川の氾濫防止の効果と、堤内側に降った降雨による浸水状況を解析できます。

葛川の堤内地(堤防から住居や農地側)の水の流れを表現するため、葛川に接続する水路(上図緑線)の測量を行い、解析モデルへ反映しました。

3 内水解析の結果について

(2) 検討の結果(浸水深)

- ・埼玉県計画規模の降雨に対し解析を行いました。
- ・現況時点では、葛川水門の閉鎖により葛川が溢水することから、大規模な浸水が生じます。
- ・整備後では、降雨により堤内水路からあふれることにより一部浸水はしますが、浸水面積、浸水深ともに大幅に減少します。

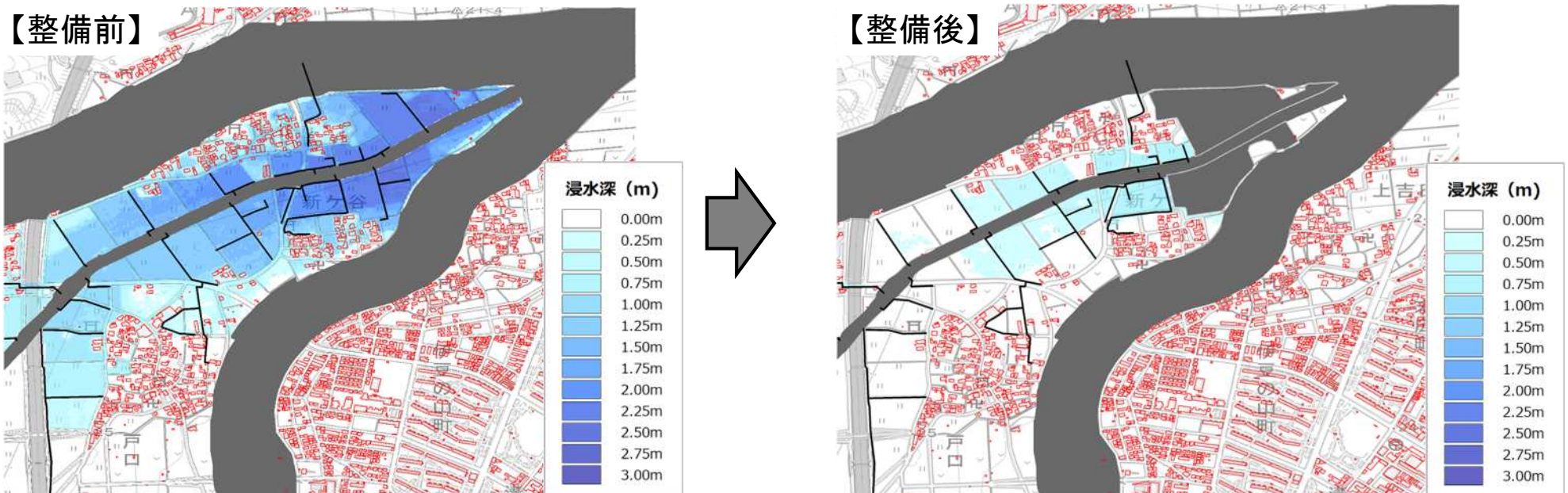


図 最大浸水深の比較(整備前後)

整備後は0.1m以下の範囲が全体の44%
整備前は1.5m未満の浸水面積が67%
1.5m以上の浸水面積が33%

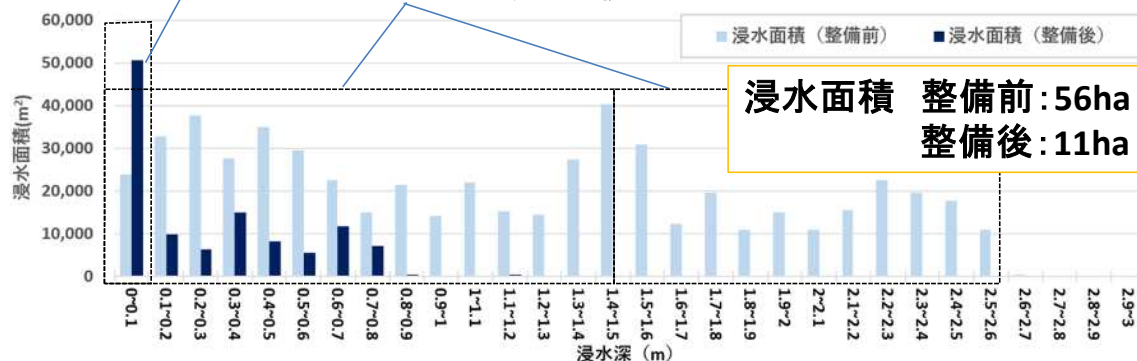


図 浸水深毎の面積

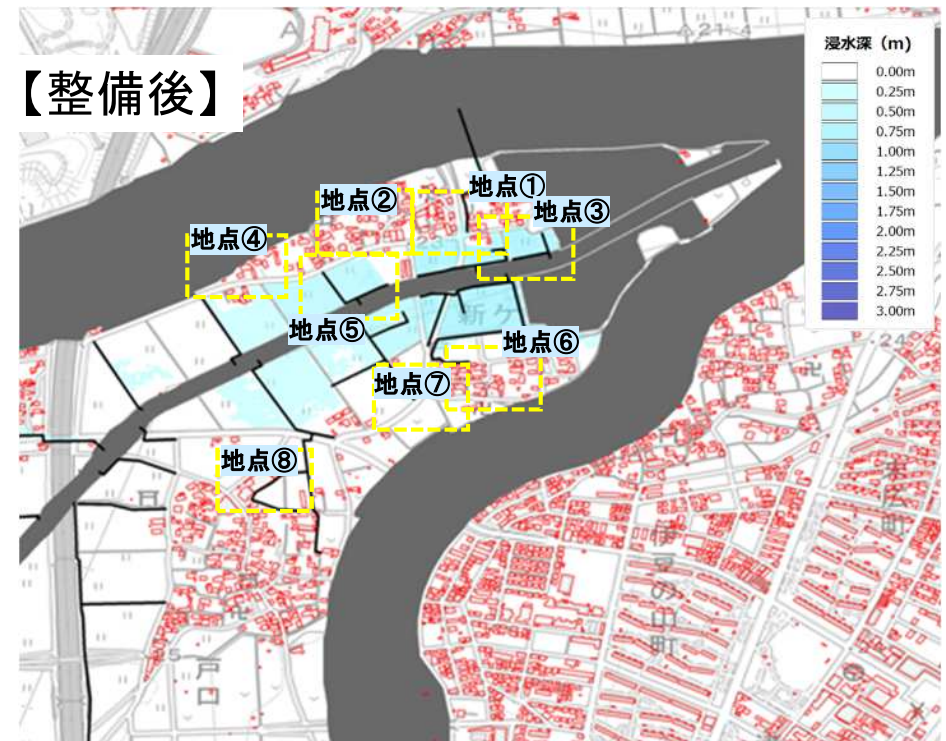
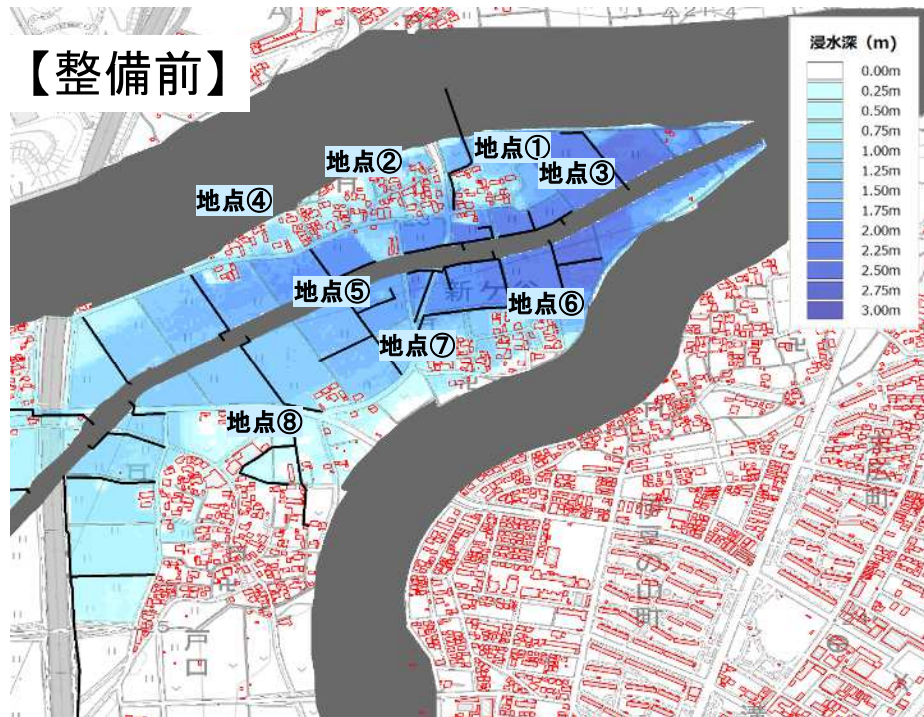
浸水面積 整備前: 56ha
整備後: 11ha

- 浸水面積は、河川整備により56haから11haとなり、80%減少します。
- 整備前時点では、浸水深1.5m以上の範囲が全体の33%ですが、整備後は浸水深0.1m以下の範囲が全体の44%となります。
- 整備後は宅地部では浸水は生じなくなります(水田部のみの湛水となります)

3 内水解析の結果について

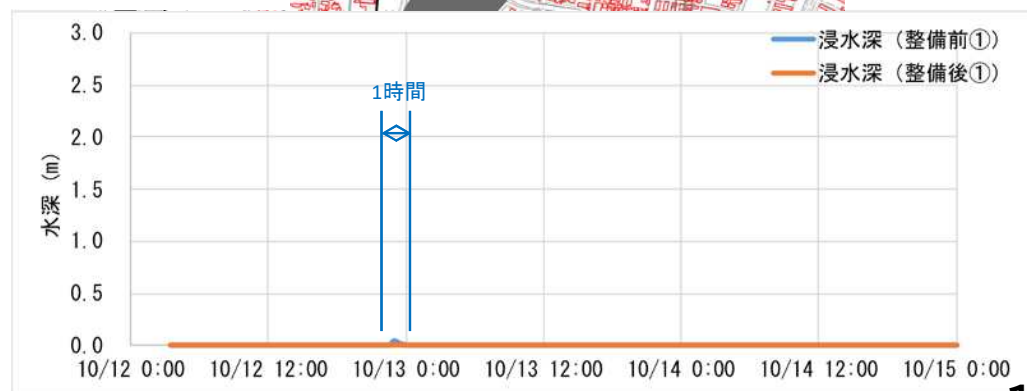
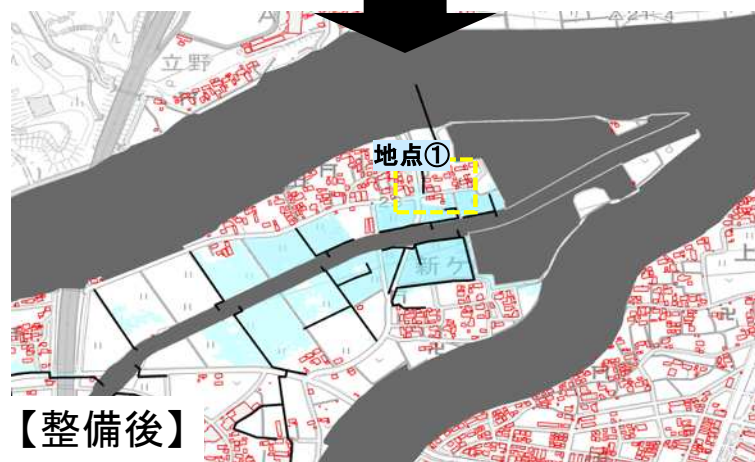
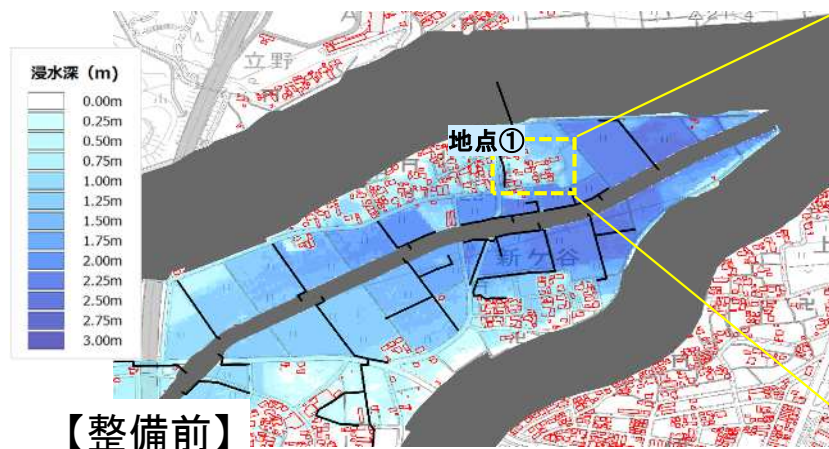
(2) 検討の結果(浸水深)

結果をもとに、以下の8地点について浸水深、浸水継続時間をより詳細に確認しました。



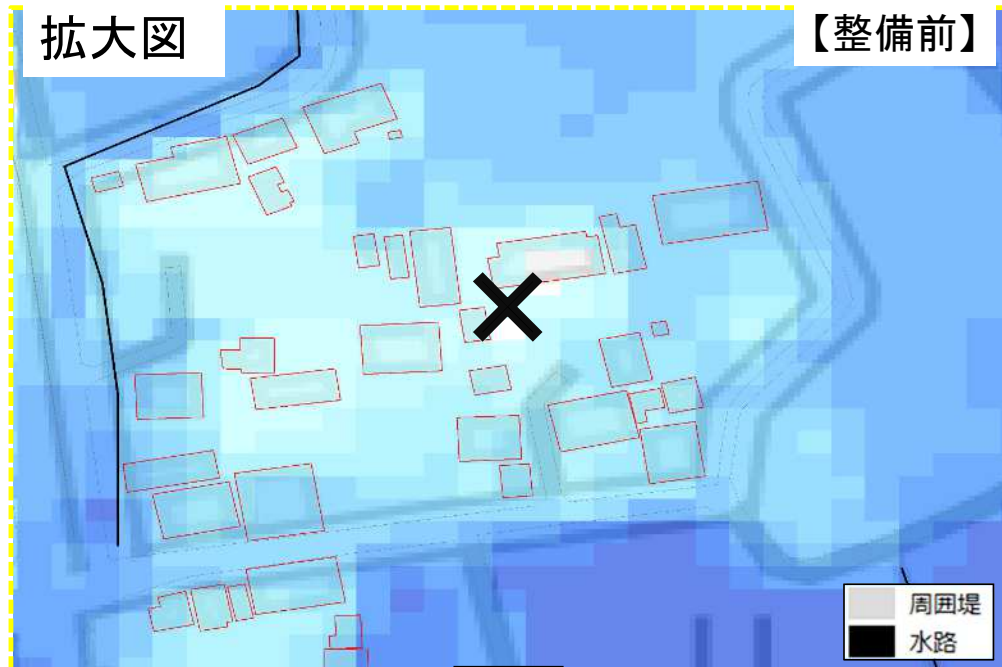
地点1

地点①では整備前は浸水深が0.1mであり浸水時間は1時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。



拡大図

【整備前】



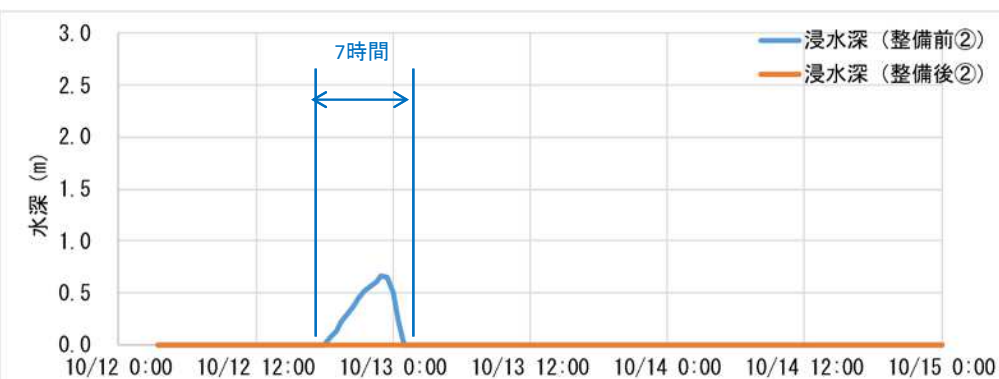
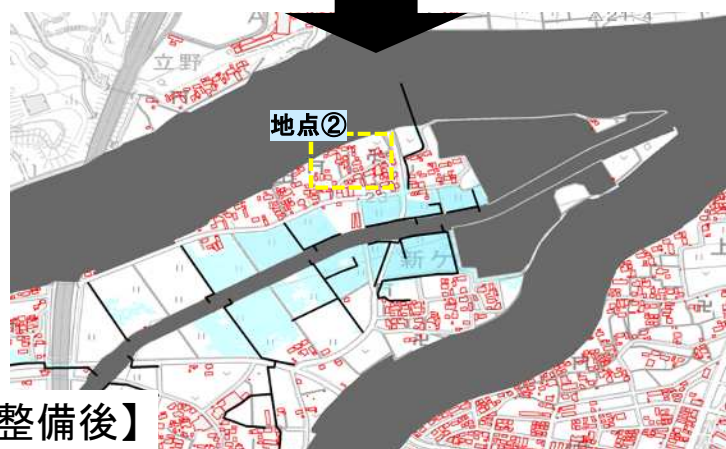
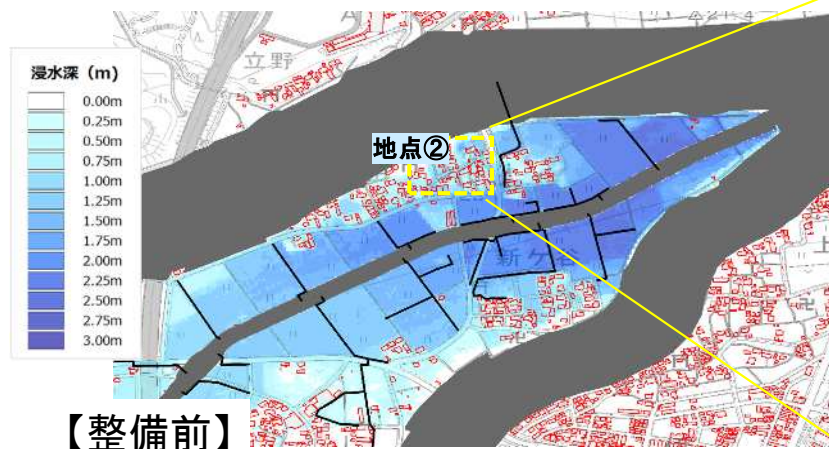
【整備後】



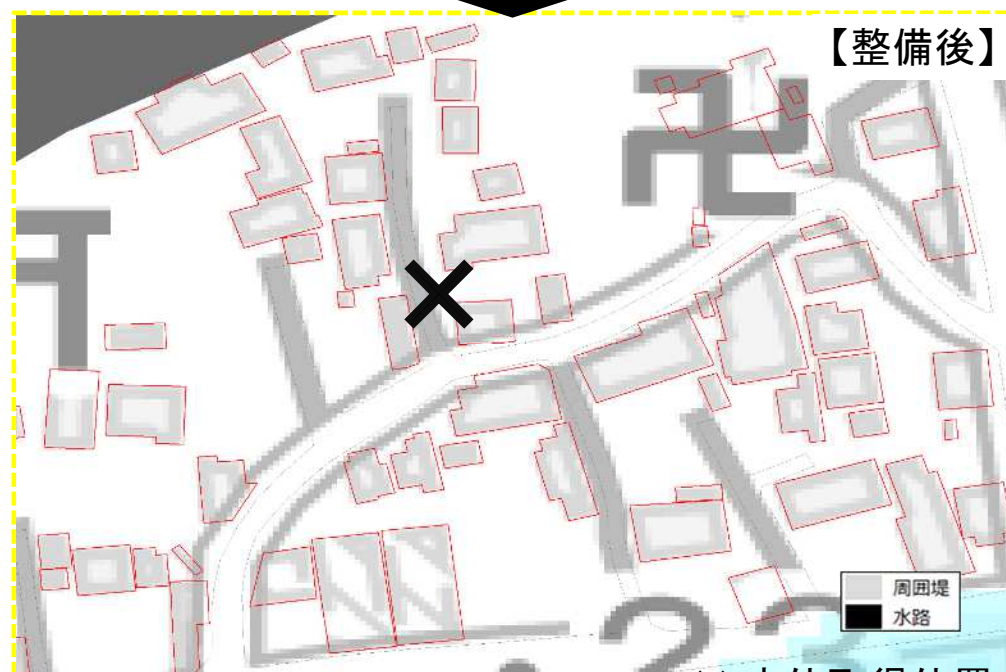
× 水位取得位置

地点2

地点②では整備前は浸水深が0.7mであり浸水時間は7時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。



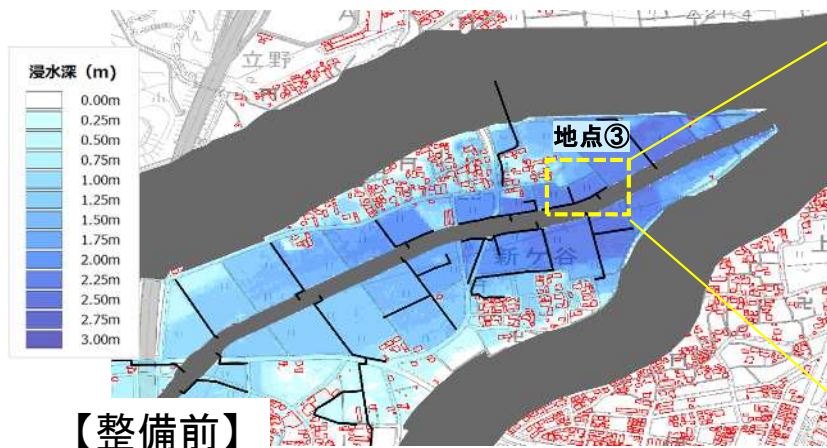
拡大図



× 水位取得位置

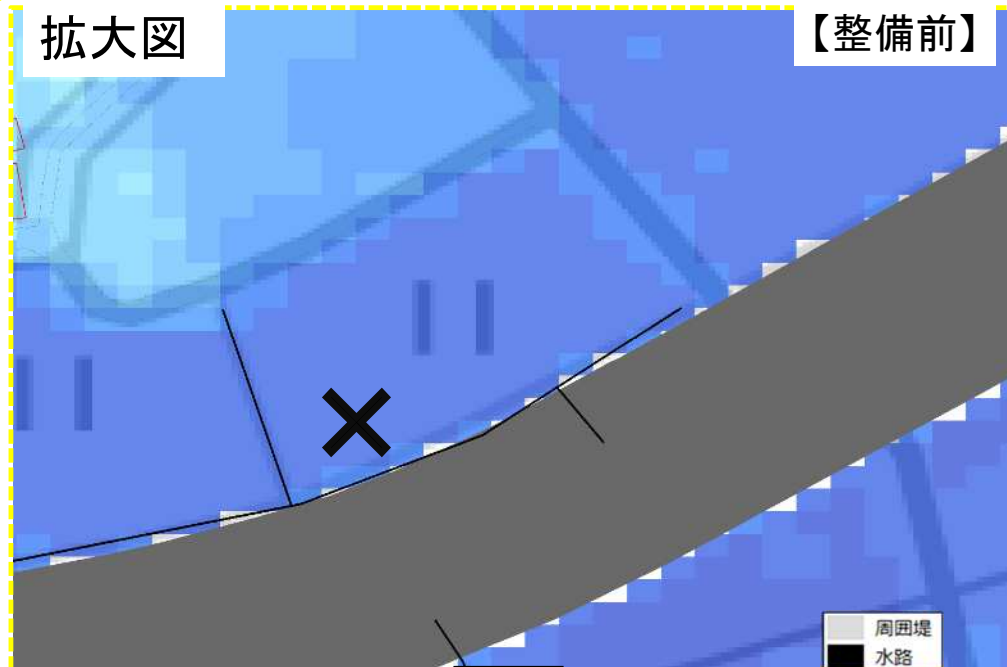
地点3

地点③では浸水深が2.3mから0.7mへ低減し、浸水時間は17時間から14時間となります。

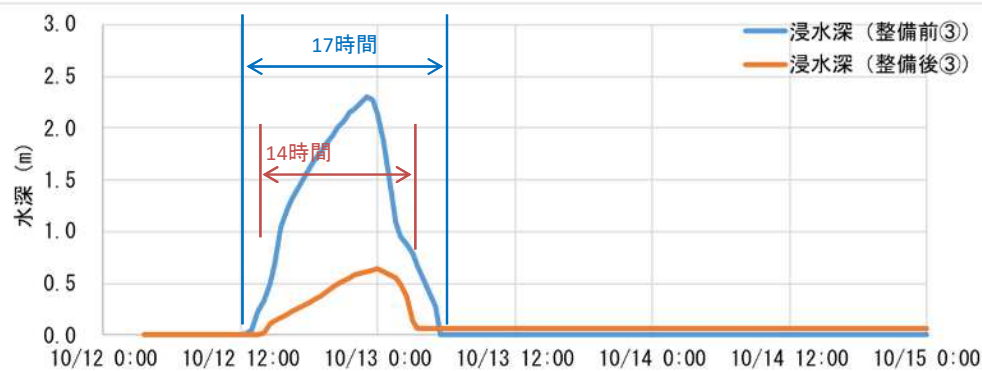
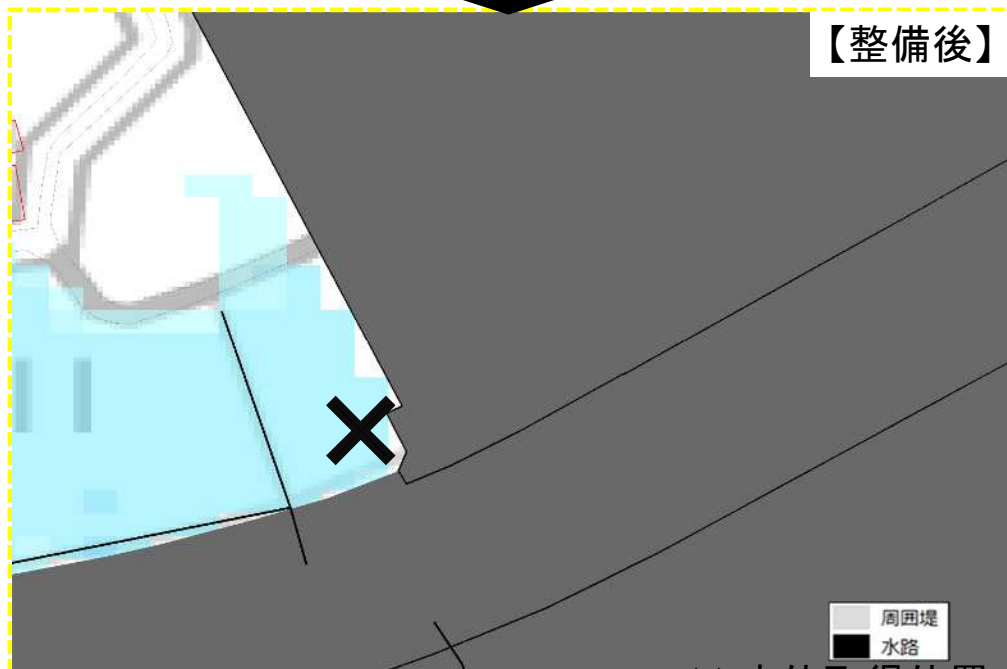


拡大図

【整備前】



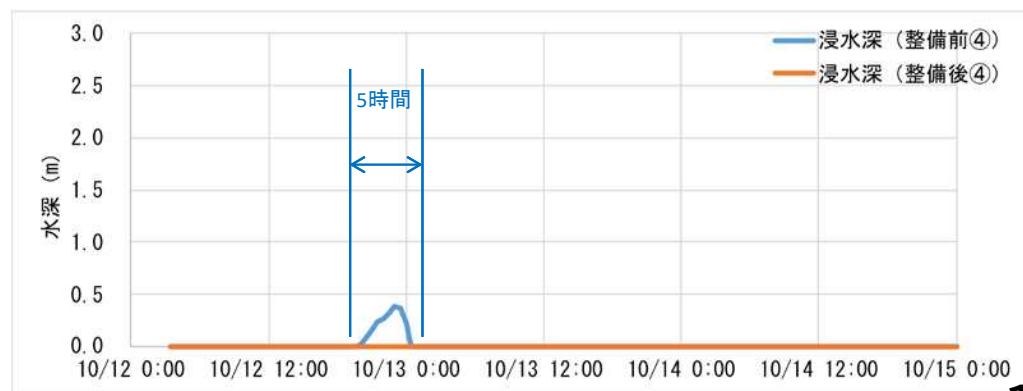
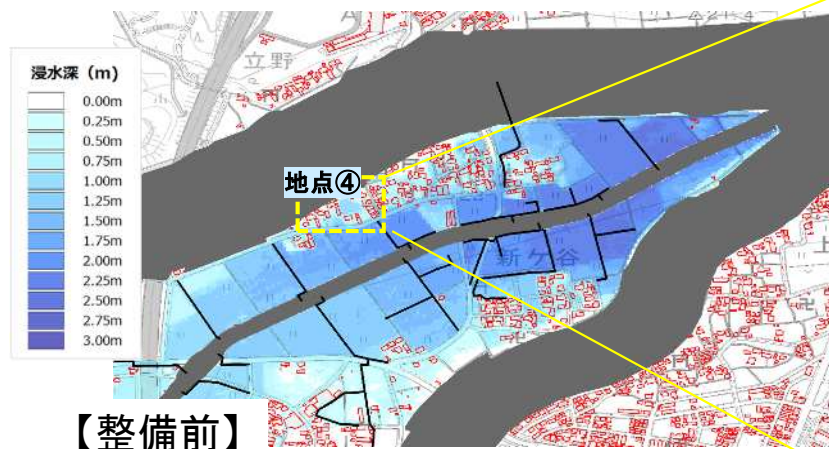
【整備後】



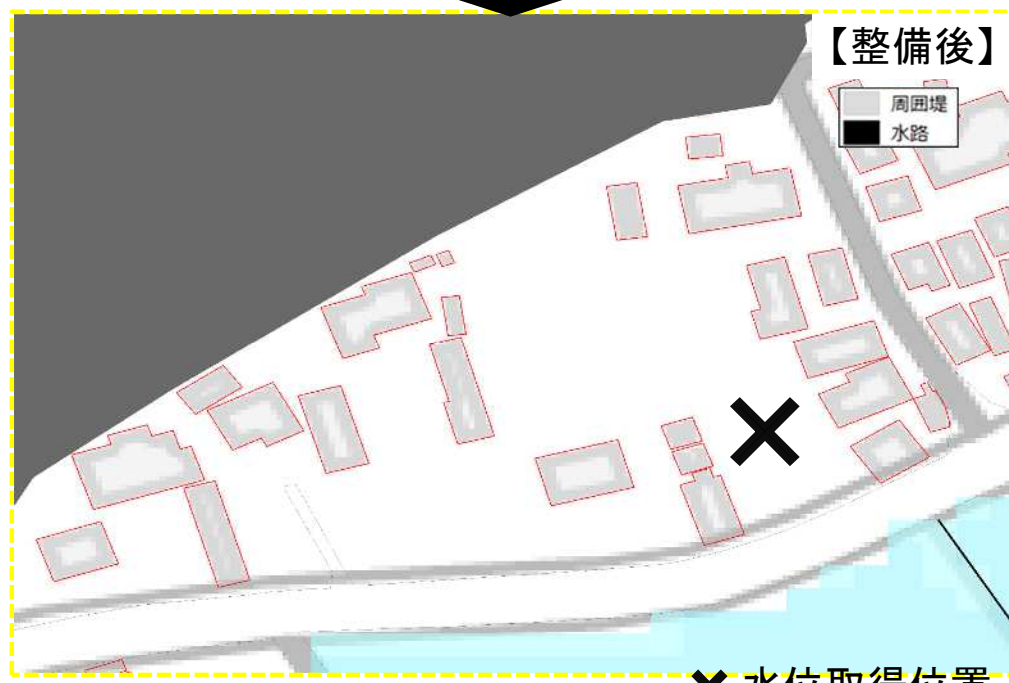
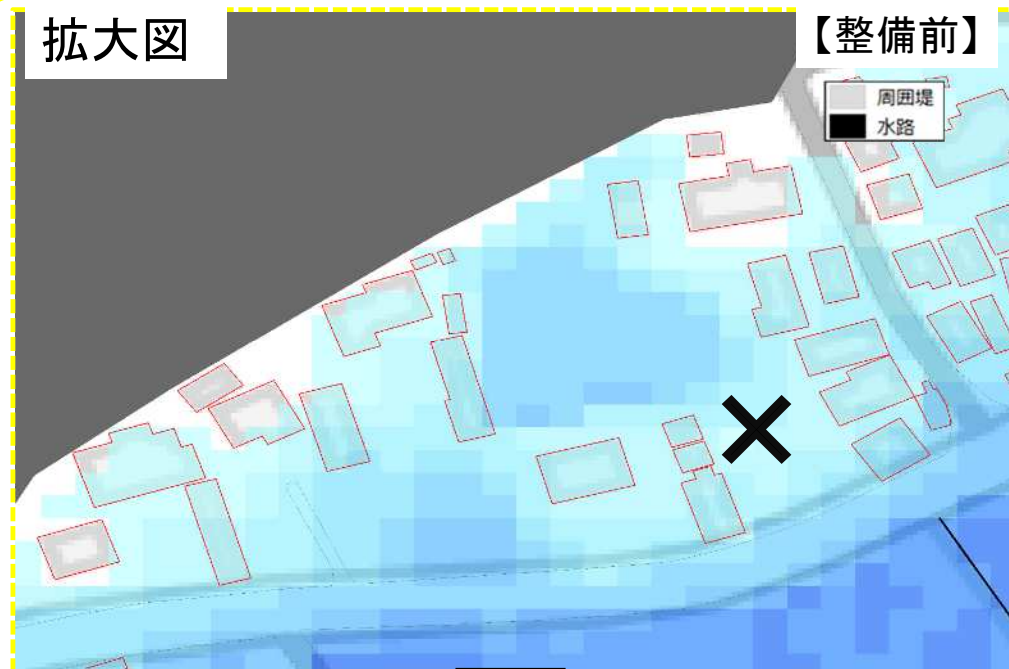
✕ 水位取得位置

地点4

地点④では整備前は浸水深が0.4mであり浸水時間は5時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。

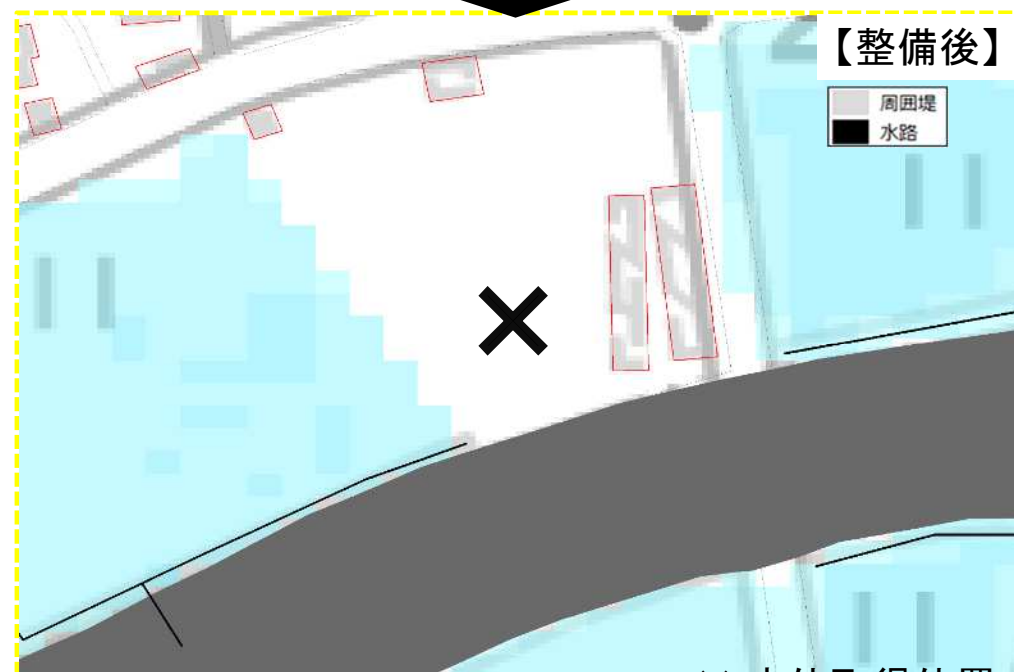
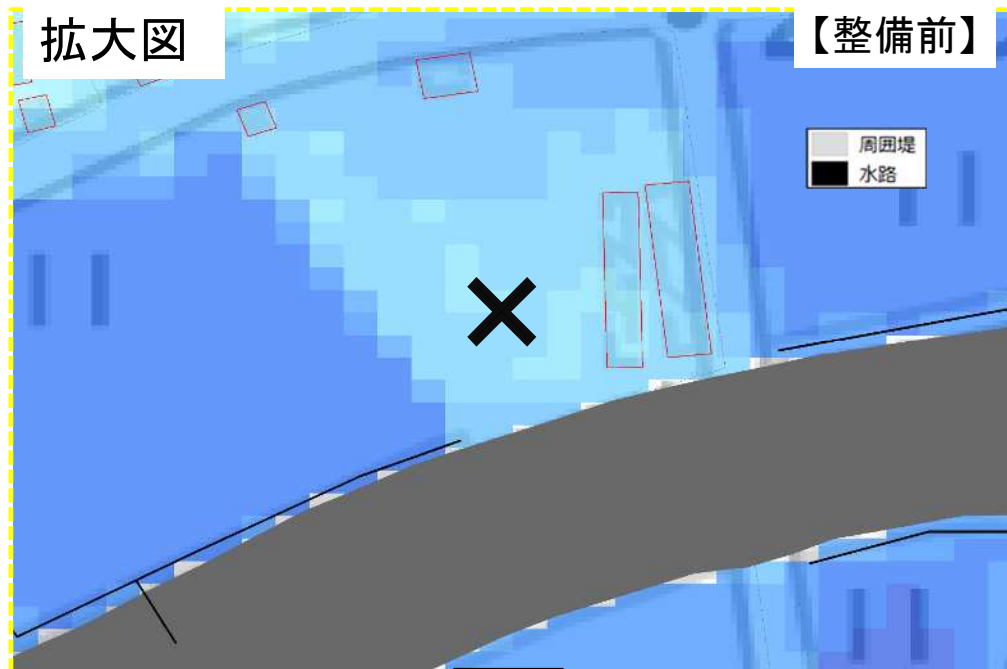
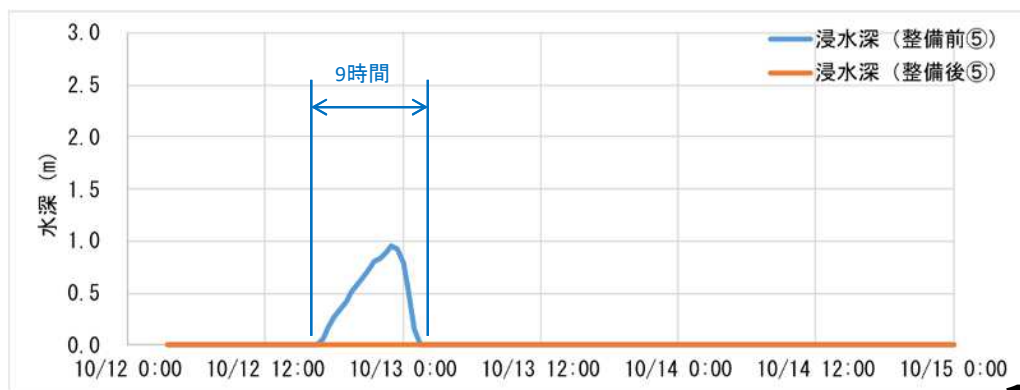
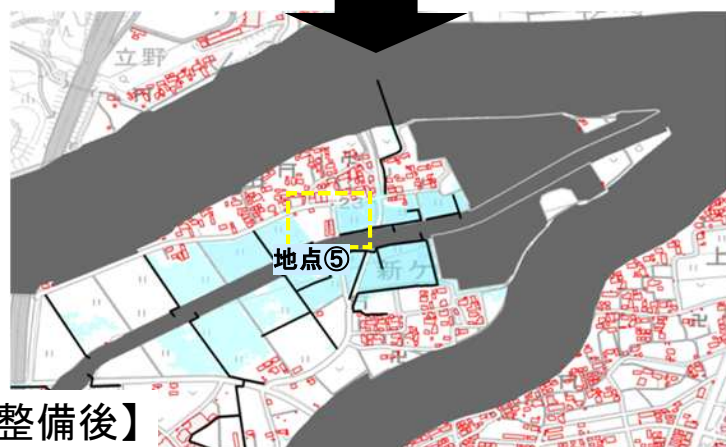
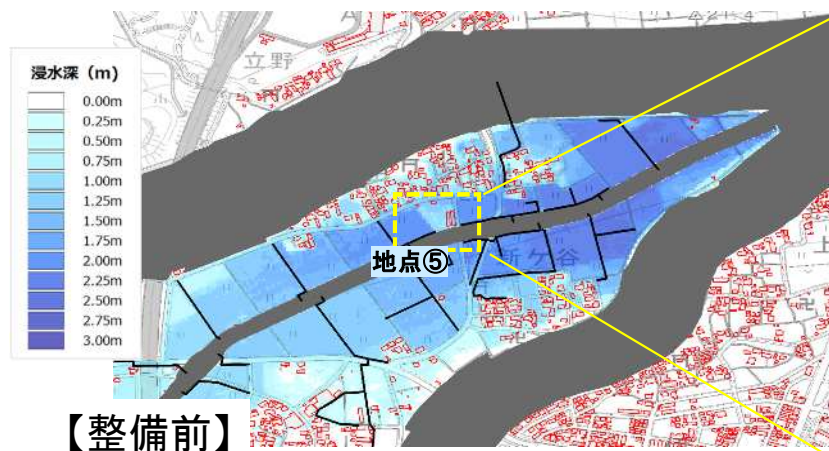


拡大図



地点5

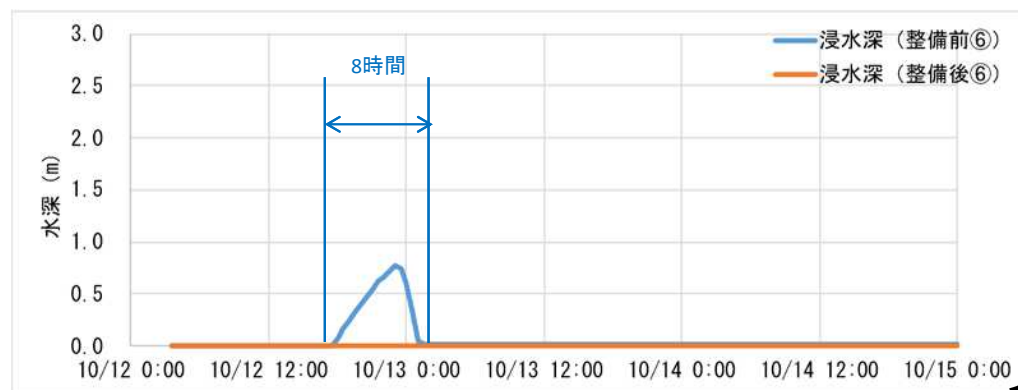
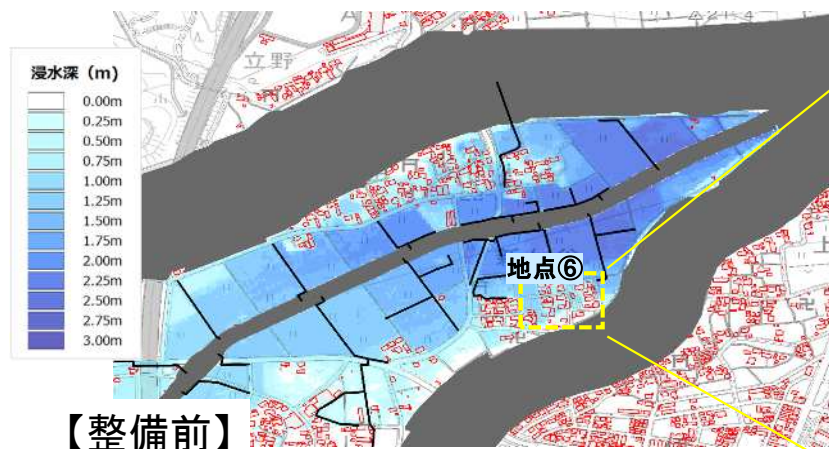
地点⑤では整備前は浸水深が1.0mであり浸水時間は9時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。



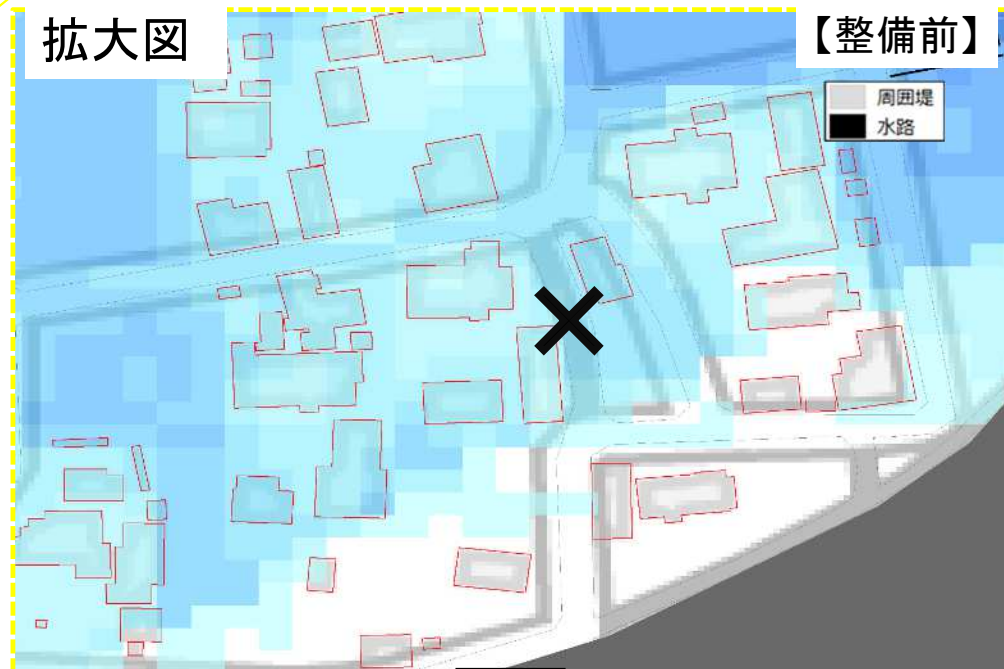
✕ 水位取得位置

地点6

地点⑥では整備前は浸水深が0.8mであり浸水時間は8時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。



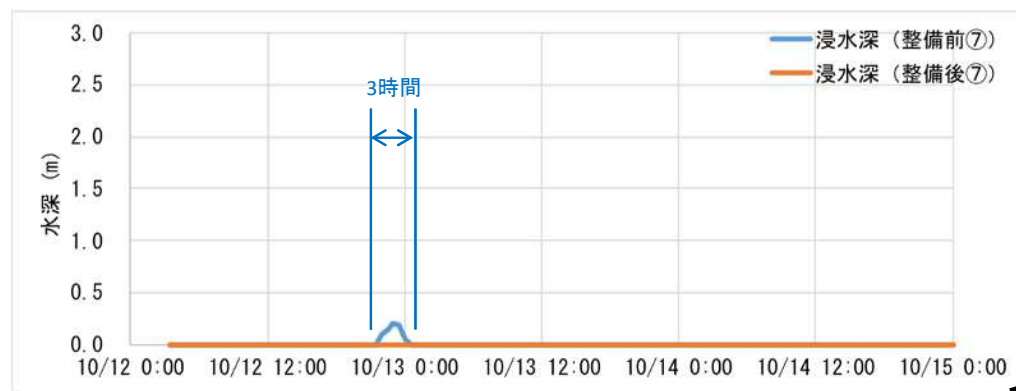
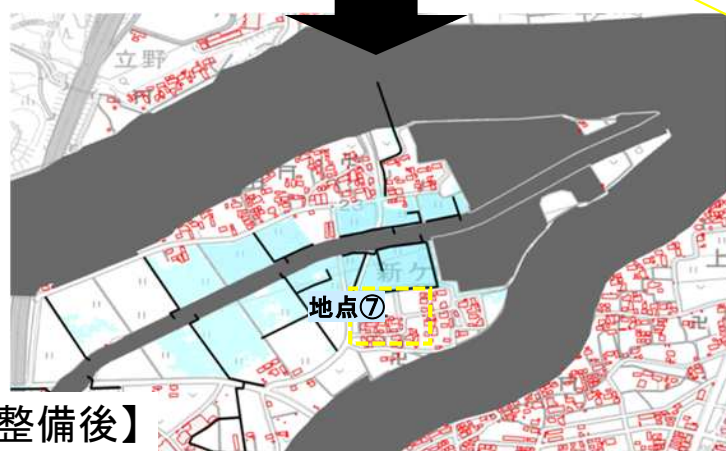
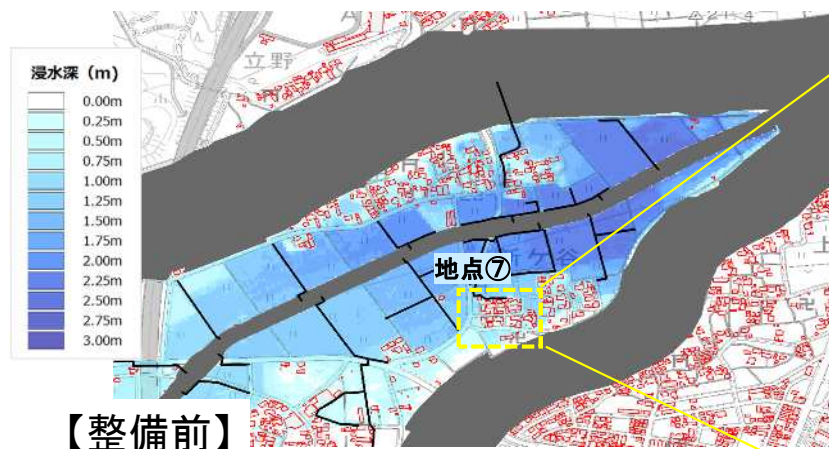
拡大図



✕ 水位取得位置

地点7

地点⑦では整備前は浸水深が0.2mであり浸水時間は3時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。



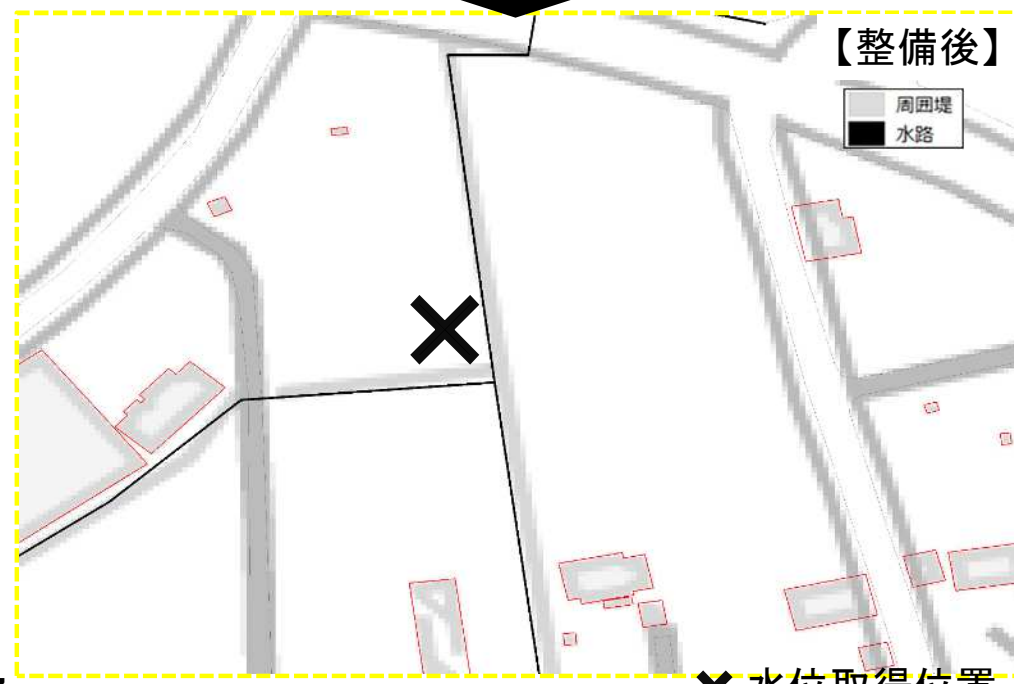
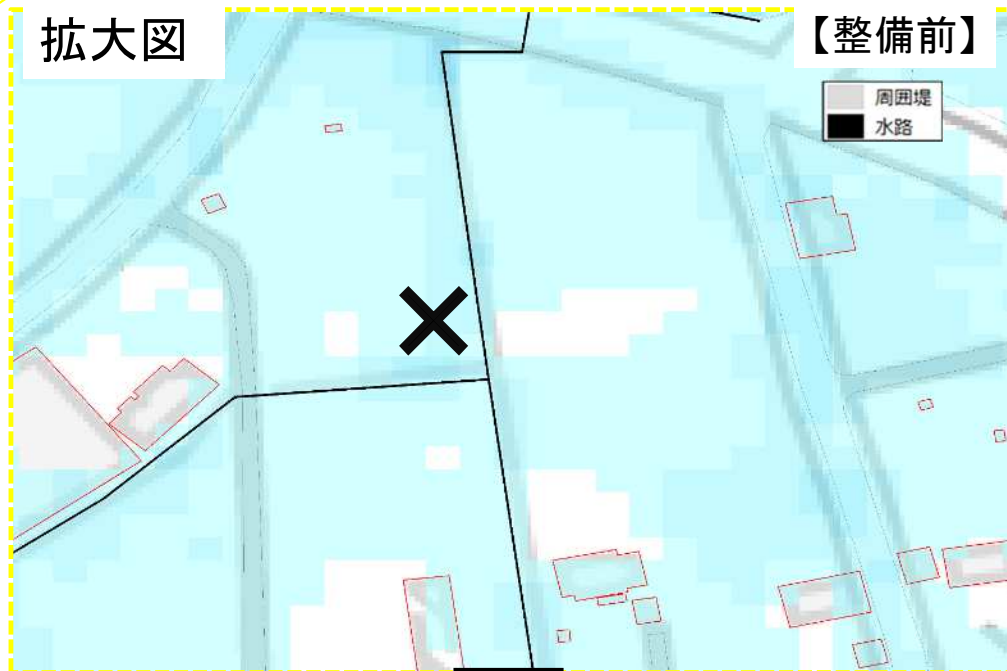
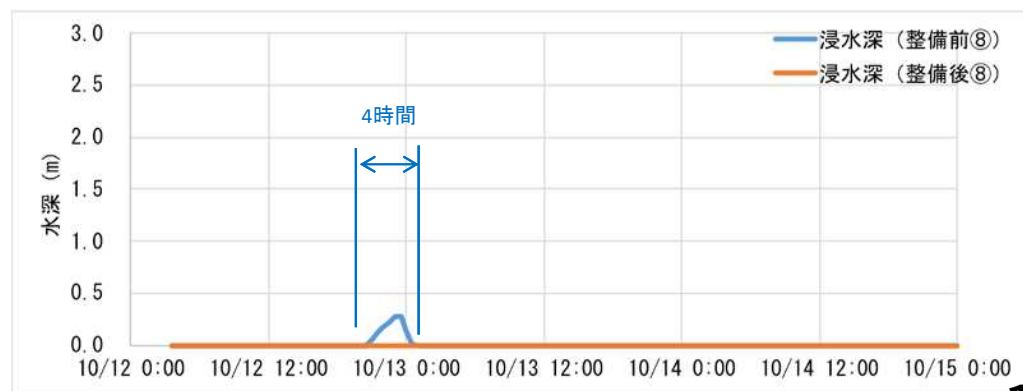
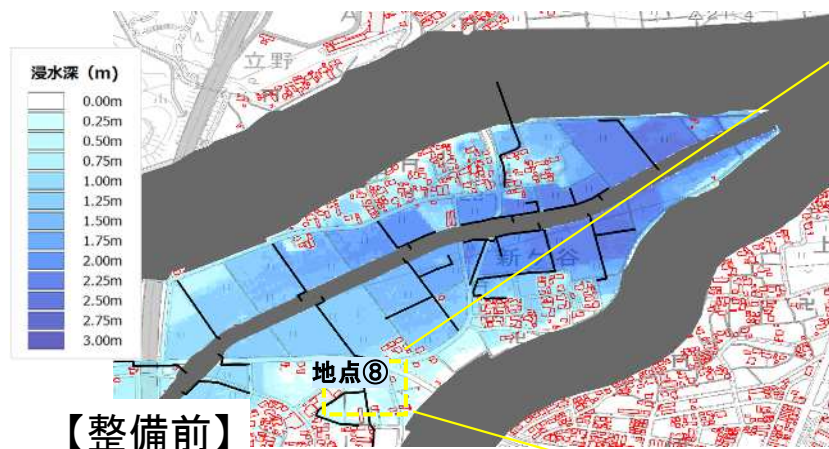
拡大図



× 水位取得位置

地点8

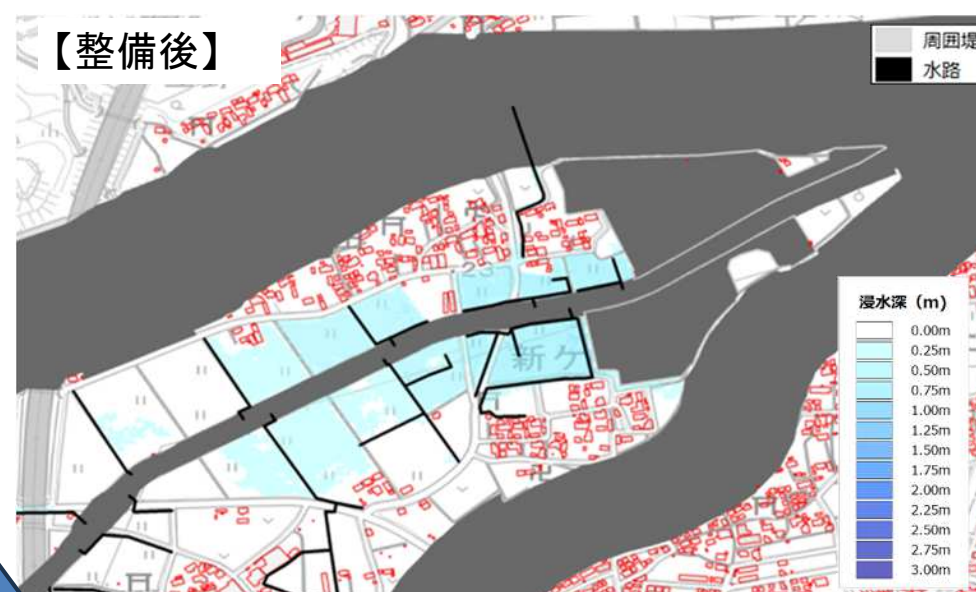
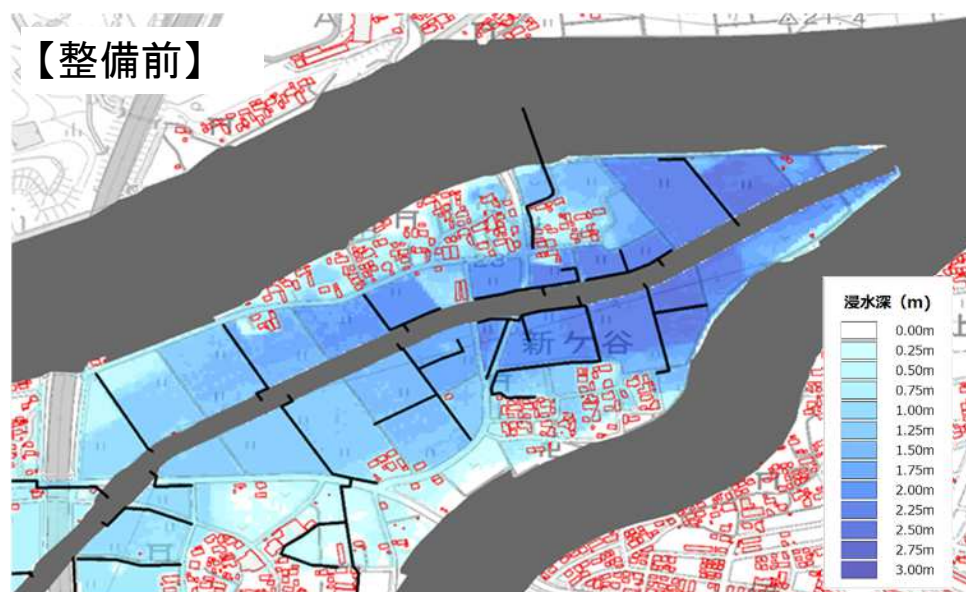
地点⑧では整備前は浸水深が0.3mであり浸水時間は4時間ですが、整備後は浸水が生じなくなります。



✕ 水位取得位置

(3) 検討のまとめ

内水解析を行い合流点処理対策の整備前後で浸水範囲等を確認しました。
合流点処理の整備により葛川からの溢水が大幅に減少し、大幅に浸水被害が改善することが解りました。

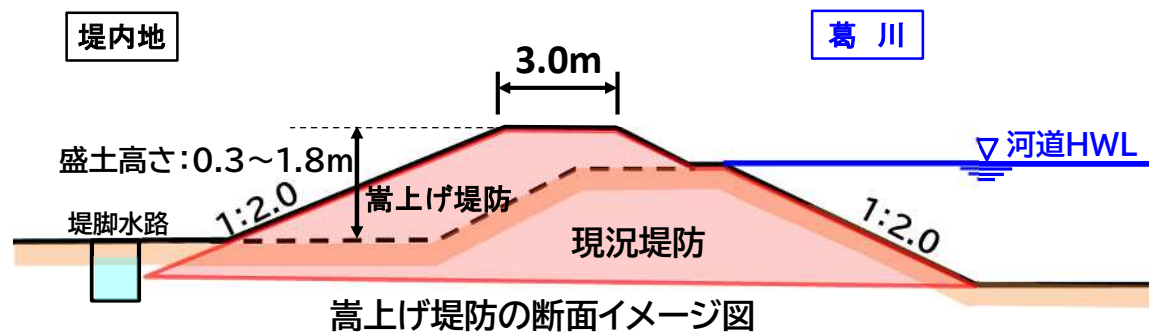


	現況	整備後	備考
浸水面積	56ha	11ha	浸水が生じる範囲の面積
最大浸水深	2.3m	0.7m	最大浸水深
浸水継続時間	最大17時間	最大14時間	
浸水戸数	254戸	0戸	シミュレーションに用いている地盤高メッシュデータは、盛土などを考慮しないデータのため家屋の位置する地盤高が実際より低く設定されている場合があります。 浸水戸数には、住家以外（作業小屋、納屋等）も含まれます。

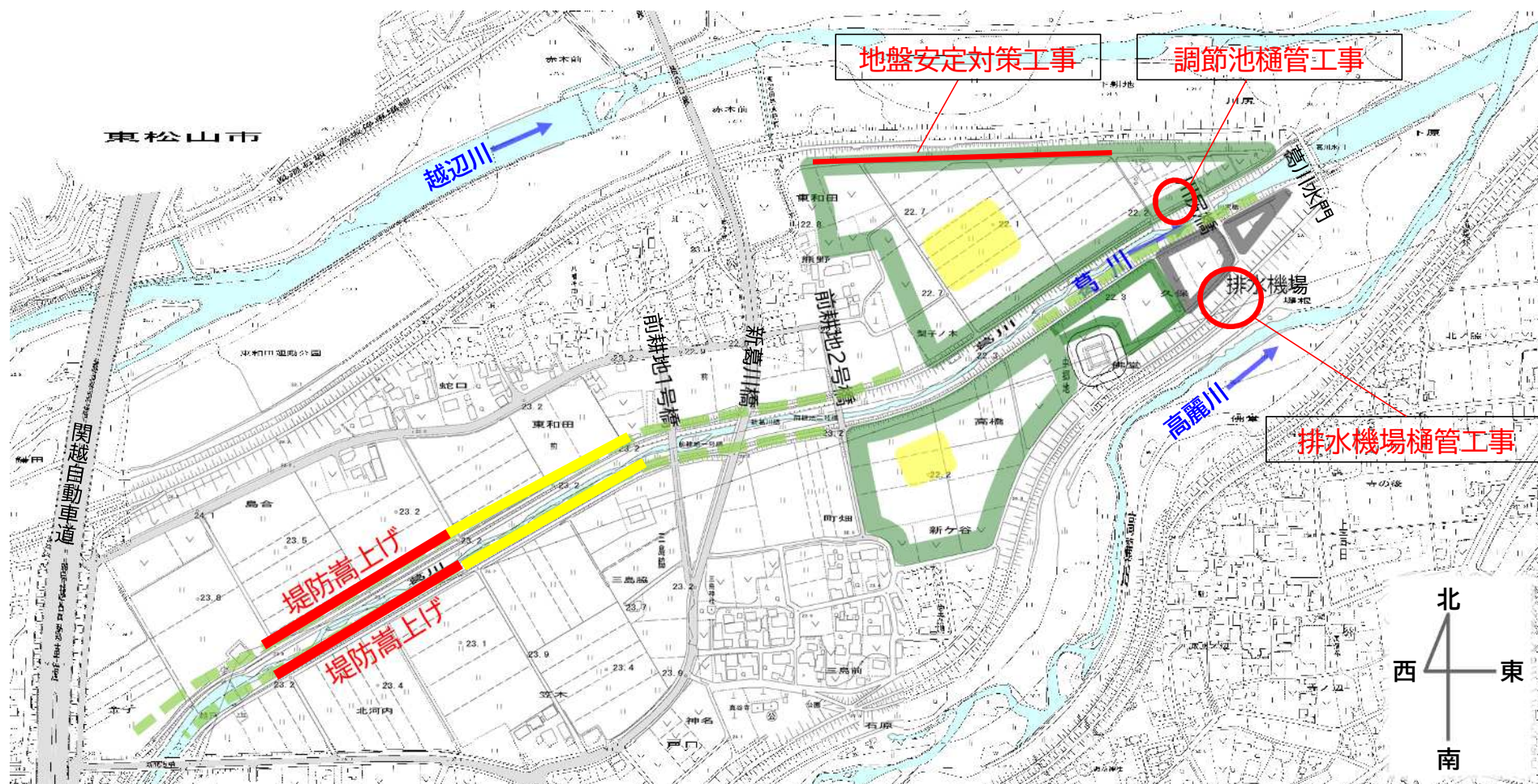
4 今後の取組み (1)R8工事予定

工事予定箇所

凡 例



- R7年度施工済箇所
- R8年度施工予定箇所
- R9年度以降施工箇所



4 今後の取組み (2)スケジュール

(1)事業スケジュール

※現段階の予定であり、社会情勢の変化により工事の手順等のスケジュールは変わります

本体工事

調節池

左岸側 R6年10月～

右岸側 R7年10月～

堤防嵩上げ

左岸側 R7年 7月～

右岸側 R7年 7月～

排水機場

R8年10月～

	令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度以降 残工事
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
調節池左岸側 工事			掘削工			地盤安定対策工					掘削工		・左右岸調節池掘削工及び周囲堤築造工 ・左右岸調節池越流堤築造工 ・右岸調節池排水樋管工等
堤防嵩上工事	前耕地1号橋上流～												・前耕地1号橋下流堤防嵩上工 ・橋梁架替工(2橋) ・川尻橋撤去工等
排水機場工事							排水樋管工						・排水機場本体工(躯体・建屋) ・排水ポンプ製作・設置工 ・電気設備等製作設置工(除塵機含む) ・吐出水槽築造工 ・排水機場外構工等